

発行者
福岡市議会議員
栃木義博
〒814-0001
早良区百道浜1丁目
3番13-305
電話 845-7669
FAX 845-8511

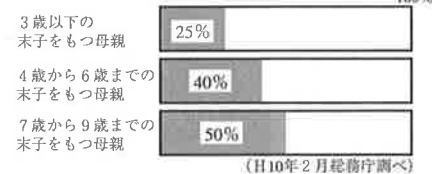
福岡市議会九月定例会の第二日（9月17日）に子育て支援策について質問しました。また、第四日（9月21日）には、福岡市の赤字財政の立て直しの視点から市営地下鉄の経営改革について執行部の考え方を質しました。

市長「前向きに検討」 無認可保育所に助成

福岡市の子どものいる世帯で三歳以下の末子をもつ母親の四人に一人が働きにでています。同様に四歳から六歳までの末子をもつ母親の二・五人に一人、七歳から九歳までの末子をもつ母親の二人に一人が働いています。それを反映して、公立・私立あわせた認可保育所の入所児童数は、二万一千人で、五年間で三千人が増えました。一ヶ月平均で三千七百

人いて、昨年比で倍増です。認可保育所のほかに、いわゆる無認可保育所があります。八十六施設に一千六百人の児童が

〔図1〕福岡市の働く母親（子どものいる世帯）



利用しているとされています。この五年間で四百人ほど増加しました。女性の社会進出と働き方の多様化にともない、職場近接など開設場所や時間帯など、今の認可保育所のサービスマン形態では満たせないニーズを認可外施設が拾い上げていると思われる。無認可保育所については、他

「経費削減策を研究」交通局 市営地下鉄の経営改善で

福岡市の借金である昨年度末の市債残高二兆二千億円のうち、市営地下鉄の残高は二千八百億円で、三号線建設によるさらなる負担増が福岡市財政の立て直しの重荷になることが予想されています。福岡市の地下鉄事業は、平成六年度に八百九十六億円であった累積赤字は、平成十一年度末には一千四百六十二億円に膨れ上がり、

政令市の多くが何らかの形で役割を与え、助成しています。そこで、山崎広太郎市長と木山光蔵保健福祉局長に質問しました。

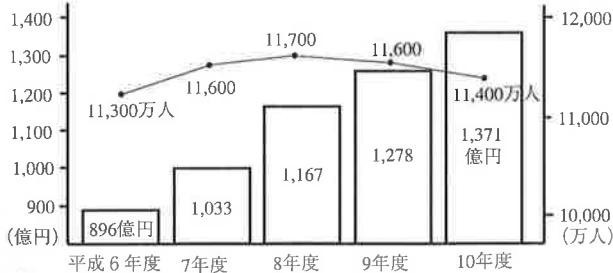
問（栃木）無認可保育所の実態を調査し、現状に即した新しい役割を与えて、助成してはどうですか。

答（保健福祉局長）無認可保育所の役割を認めます。国が保育所の設置、運営、利用についての制度の見直しを進めていますので、その動きを見極めながら検討します。

問（市長）無認可保育所の助成については、子育てをめぐる状況を調査し、無認可保育所の新しい役割と位置づけについて、きちんと把握して前向きに検討します。

五年間で五百六十六億円も増えることが予想されています。昭和五十六年の開業以来、赤字決算を脱することができないでいます。さらに、平成九年度から続く乗客の減少による運賃収入の伸び悩みや三号線建設にともなう借入金と利払いの増加が予想され、厳しい経営状況が長期にわたって続くことになりそうです。

〔図2〕市営地下鉄の累積赤字額と乗客数



商業・業務地域や人口密集地域を営業している一号线（空港線）と違って、二号线（箱崎線）や三号线では大幅な輸送需要（運賃収入）が見込めないために、営業費用の削減が課題です。公営地下鉄は、営団地下鉄や民営鉄道と比べて多くの点で生産性が劣ると指摘されています。市営地下鉄三号線が開業した場合、民営事業者と比べて、営業費用で少なくとも六パーセント、額にして十九億円の割高になります。そこで、山崎広太郎市長と井上剛紀交通事業管理者（交通局）に質問しました。

問（栃木）市営地下鉄の経営状態をどのように認識されているのですか。

答（市長）地下鉄三号線の小型化

など経費削減に工夫してきました。市営地下鉄は独立採算のため経営努力や利用者増などで長期的な観点から経営を確立します。

問（栃木）単年度での黒字転換はいつ達成できるのですか、累積赤字はいつになったら解消されるのですか。

答（交通事業管理者）平成七年度におこなった試算では、単年度での黒字転換は平成二十年度で、累積赤字の解消は平成二十八年度を予定しています。しかし、今後の収支動向は当時の試算よりきびしくなるものと考えられます。

問（栃木）今後、乗客は増え続けるのですか、減るのですか。

答（交通事業管理者）乗客数は平成九年度から二年続けて減少しています。さらに、本年八月も前年同月の〇・九パーセントの減少です。ながびく景気低迷や少子高齢化で乗車人員の大幅な増加を期待するのは困難であると考えています。

問（栃木）三号線での列車運行の外部委託など市営地下鉄の合理的な経営と効率的な運営手法を開発するために有識者を加えた研究委員会を設置してはどうですか。

答（交通事業管理者）地下鉄のきびしい経営状況を踏まえて、新たに交通局内に研究会を設置して、さらなる経費削減のためのの方策を研究、検討します。

